

湿地の生物観察と ハッチョウトンボ米づくり



「ハッチョウトンボ」は、1円玉ほどの日本一小さいトンボです。湿地にすみ、絶滅が心配されるこのトンボが、福田の休耕田で発見されました！

そこで、ハッチョウトンボの観察と地域の歴史を学びながら、昔ながらの栽培方法で「古代米＝ハッチョウトンボ米」を育てるユニークな活動が実行されることになりました。

プログラム

※日程は予定です。米の生育状況や天候によって変更することがあります。

※もし全回とも活動できなくても、参加OKです。

1

5月21日(土)「オリエンテーション」(場所：福田公民館)

作業日程・内容についての説明と、観察・耕作地の現地視察をします。

2

5月28日(土)「自然観察と田植え体験」

昔のように手作業で古代米の苗を植えます。自然も満喫しましょう



3



7月9日(土)「ハッチョウトンボの観察と田の整備」

ハッチョウトンボが舞う季節です。昆虫博士と観察します。

4

10月15日(土)「自然観察と稲刈り体験」

いよいよ収穫！昔の道具を使ってハッチョウトンボ米の稲刈りを体験します。



5



11月26日(土)「ハッチョウトンボ米収穫祭」

福田公民館まつりと同時開催！活動の経過をスライドショーで振り返ります。ハッチョウトンボ米を昔の方法で精米し、土器で炊いていただきます。

- ◆時 間 午前9時～正午 ※ただし11/26(土)は、午後に予定
- ◆場 所 福田公民館あるいは観音原の休耕田
- ◆参 加 費 一人300円(全5回分・初回にお支払いください)
- ◆対象・定員 小学生以上30人(先着順) 個人・家族参加、どちらも大歓迎！

申込みは 福田公民館まで TEL (082) 899-2901